

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																											
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17											
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		従業員は、事業の目的である「フェアトレードの普及・拡大」の社会的意義を十分に理解し、自らの役割にやりがいを持って積極的に取り組んでいる。														8	9									17				
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		営業に当たり、法令遵守が徹底されるよう日頃から従業員に指導している。																								16				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		本事業の目的である「フェアトレードの普及・拡大」の考え方に則り、全ての仕入先等と公正な取引を行うとともに、不当な割引き圧力の疑いがないか、全ての取引の確認を行っている。																								16				
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		従業員は、店舗運営が社会・環境に負の影響を及ぼさないか十分確認し、負の影響を及ぼす恐れがあるものについては、代表者が実施承認を行わない体制をとっている。																									16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		SNS等各種情報発信に当たっては著作権や肖像権等の各種権利を侵害することが無いよう細心の注意を払うとともに、専門家のアドバイスを得ながら情報発信を行っている。															8.2	8.3	9								16			
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		顧客情報の管理には最新の注意を払い、適切に管理している。新しい従業員には情報漏洩防止に向けた指導を行っている。																									16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		店舗運営は取引先や行政機関等のステークホルダーと連携して計画、実行している。各種施策の参加者等とはSNS等を通じて双方向で意見交換を行っている。																									16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		原料の生産から、輸出入、加工、製造全ての工程で、差別や児童労働の禁止、土壌・水源・生物多様性の保全等、国際フェアトレード基準が守られている商品を取扱うとともに推進に取り組んでいる。					5																				17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																			9				11				13.1		16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		インターンやボランティアを受け入れ、若い世代の育成を行っている。																	8	9								17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		フェアトレード専門店として、店舗運営においても可能なものは全てフェアトレードで調達している。																										17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内での差別や人権侵害がないことを確認している。	●		従業員の採用に当たっては、性別、職業、年齢等いかなる制限も設けず、高校生から社会人まで老若男女が互いを尊重しながら意見を言える環境を整えている。				4.3	5.1																			16.1	16.2	16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全衛生に配慮して営業するとともに、メンタルヘルス(心の健康)を確保するために、従業員同士の交流の機会を設け、店舗運営以外のことも自由に話せる環境を整えている(日本講演会新聞読者会、英語研究会など)。																												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金に沿った従業員の公正な待遇を行っている。					5.5																							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		従業員とよく話し合い、個人の意思を尊重した働き方ができるように体制を整えている。																												
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		従業員だけでなく一般の方も対象とした勉強会を実施し、フェアトレードと市民の消費行動のつながり、SDGsとの関係等を幅広く学べる場を提供している。																												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		心身の健康維持のために、フェアトレードやオーガニックの食品や衣類を販売、提供すると共に、その良さを積極的に発信している。																										17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		店舗運営においては、役割について性別、職業、年齢等いかなる制限も設けず、多様な人が各々の力を発揮できる環境を整えている。					4.4	5.1																				16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		従業員同士の会議や、参加するワークショップは、出来るだけオンラインで開催している。書類作成などの事務はテレワークで対応している。																												
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●																														
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																														

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		会議資料のペーパーレス化、簡易包装に努め、廃棄物の削減に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を把握している。公共交通機関の利用や乗り合わせ、こまめな消灯により、電力、ガソリンの使用は最小限に留め、常に見直し削減に取り組んでいる。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用いて温室効果ガス排出量を把握している。空調設備の利用を最小限にするなどの対策により、温暖化効果ガスの排出量を最小限に留め、排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		フェアトレードには環境的基準が定められており、生物多様性の保全に配慮している。森林栽培のフェアトレードコーヒーを販売、生産過程についての講演会なども行っている。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		エコバックでのお買い物推奨し、ギフト商品は簡易包装、またはリユース可能なごみやバッグなどでの包装にしている。アップサイクルのフェアトレード商品の販売にも力を入れている。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		節水や汚水等の適切な処理をしている。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5		14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		環境的基準が定められたフェアトレード商品を販売している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		フェアトレード商品は、オーガニックで保存料などがほとんど使われていないため、賞味期限が短いものが多いが、セールにするなどして食品ロスが出ないように工夫している。	1	2					6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		店舗前の庭に季節の花々を植え、緑化に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		エコバックでのお買い物推奨し、ギフト商品は簡易包装、またはリユース可能なごみやバッグなどでの包装にし、プラスチック製品の使用削減に取り組んでいる。													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		移動にはできるだけ公共交通機関を使い、自動車を使い際には乗り合わせるようにしている。										9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		国際フェアトレード認証ラベルやフェアトレード団体マークのついた商品かどうかを仕入れの条件とすることで、商品の安全性や品質を確保している。			3.9						9		12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		ユニバーサルデザインの考えに則り、誰もが参加しやすい店舗やイベント等の開催をしている。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・産地消費を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	熊本県産の原料とフェアトレードを掛け合わせた商品開発を行っている(フェアトレードのマスコバド糖と熊本産れんこんパウダーを使ったキャンディー)。			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●									7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	発展途上国における児童労働等を撲滅するために、適正な価格で取引されたフェアトレード産品を扱っている。森林破壊や移民問題の解決のために森林農法で作られたコーヒーを販売している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●											8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域のお祭りやイベントに積極的に出店している。ボランティアを受け入れ、社会貢献活動の場を提供している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		過去の地震や火災などの経験を教訓に、非常時に対応できる体制を整えている。				4							11.5		13.1					16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1					16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	防災備蓄食品としてフェアトレードオーガニックのレトルトカレーやオーガニックのインスタント麺などを販売している。										9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	SDGsとフェアトレードを結びつけたワークショップや、県内外各所でのフェアトレードに関する講演会を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	ボランティアやインターンの学生を積極的に受け入れている。小中高校、大学などで出前授業を行い、職業についての学びの場を提供している。				4					8.6		10.2									17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	県内外の大学生、高校生をボランティアとして受け入れ、フェアトレードシティ熊本市の魅力を伝え、地元を見直す機会を提供している。					4.4				8.5 8.6											17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	自然栽培農家さんの畑で親子連れや学生たちと共に農業体験をさせていただく機会を設けている。		2			4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17	